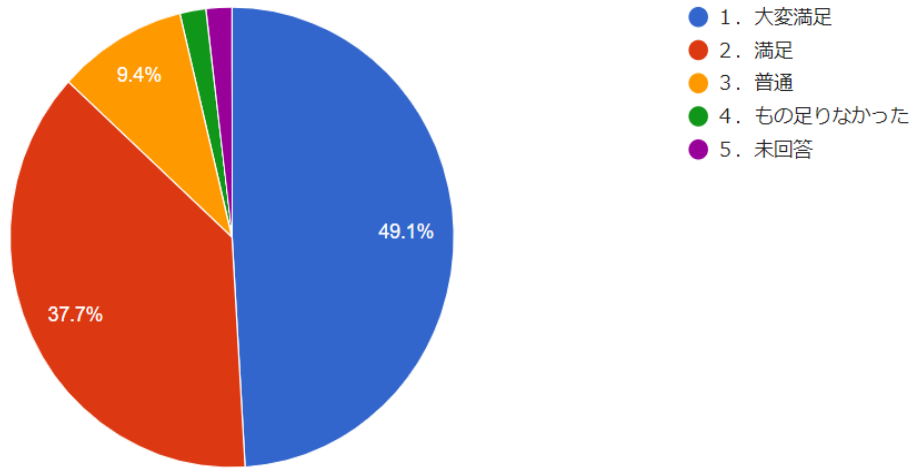


「第4回国際バカロレア推進シンポジウム」アンケート

【※有効回答数 53】

参加者 約400前後

## [3] 第1部：基調講演「国際バカロレア教育の普及への期待 ～コロナ禍におけるIB校の取り組みから学べる事～」



回答	投票数	投票率
1. 大変満足	26	49.1%
2. 満足	20	37.7%
3. 普通	5	9.4%
4. もの足りなかった	1	1.9%
5. 未回答	1	1.9%

## [4] 上記選択した理由をお聞かせください。

国際バカロレアの現状、コロナ禍での対応具体的で分かりやすい。

IBの全体像、ブレンデッドラーニングの海外での事例など、多い情報量を簡潔に明確にお話されていたため。

IBの必要性や理念と歴史、日本の現状など、ベース部分への理解が深まりました。

全体像がみえた

IBを知らない人への導入として分かりやすいと感じました。

バカロレアプログラムについて、改めて概要を理解することができました。

日本国内におけるIB校の導入状況、ブレンディッドラーニングの具体例、ハノイのIB校の事例等、参考にさせていただいた

IBOの資料も活用され、リモートがくしに向けてのステップや時間割の具体例をお示しいただいて、わかりやすかった。

何を学ぶのかではなく、どう学ぶのかの視点についてのお話は非常に心に響きました。

概要がわかりました。

説明中心だったので。

大変丁寧な説明を聞くことができた。

内容に同意できたから。

事例が大変参考になりました。

IBの現状、コロナ禍に対するIBの姿勢について再確認できた。

基本的な内容も丁寧にわかりやすく説明され、聞き取りやすかった。

IBの紹介ページではテキストデータでしか見られない、日本のIB校の現状を視覚的に理解できた。

またCOVID流行下で海外のIB校での事例の紹介やIBの運営上での取り組みが理解できたため。

理念やねらいをあらためてわかりやすく説明下さったので。IB導入に向けて、地域や中学校に説明する際にどう説明すればよいか、参考になりました。

IBについて知識の浅いものにもわかりやすいものでした。

IBの基本事項からお話されており、IBについてまだ知識の浅い自分でも非常にわかりやすかったからです。

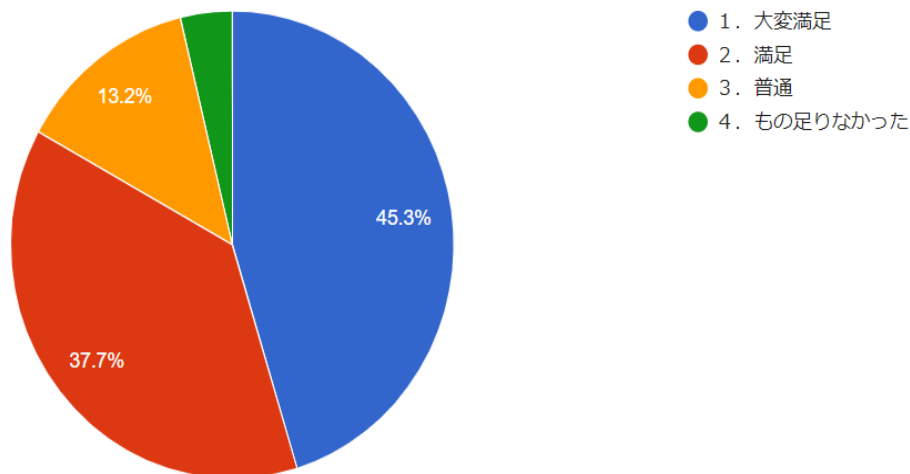
概ね既出の内容であり、真剣に関心を持つ身としては不要ないし長すぎました

その前の文科省の方のお話も含めて、大変に参考になりました。

文字通り！

所用のため、視聴できず  
 日本語DPについての情報の他、新たなサポート強化体制についてお聞きすることができ、大変有意義な内容でした。  
 総括的にお話しいただいたから。  
 棒読みで頭に残りづらかった。

[5] 第2部：事例共有セッション ぐんま国際アカデミー



回答	投票数	投票率
1. 大変満足	24	45.3%
2. 満足	20	37.7%
3. 普通	7	13.2%
4. もの足りなかった	2	3.8%

[6] 上記選択した理由をお聞かせください。

しっかりとした準備で、生徒の事を考えて対応し、授業の遅れがなかった。素晴らしい。  
 限られた時間のなか、大変わかりやすくまとめられていたと存じます。（回答、内部者です。）  
 現状に特化したものすぎたのでは  
 教師の役割について、とても共感しました。オンライン、ICT機器を使っても、何を教えるのかをまず明確にする大切さ  
 ICTを活用した教育が既に根付いている学校の事例として受け止めました。将来的に目指すべき理想像のようなものを感じました。  
 授業実践例でICT活用の具体をお示し頂き、イメージを持つことができました。生徒が喝出している様子の写真が多く、  
 日頃から先生方が連携して実践を蓄積されているのだろうと思いました。  
 新しく得る情報が少なくはあったが、それぞれの取り組みや私自身の課題、学校としての課題に改めて気づけた。  
 他校の事例を知ることができてよかった。  
 ICTの活用について具体的に理解できたので。  
 実践事例を拝見でき、興味深かったから。  
 先進校の取り組みで、様々な学びが出来ると思いました。  
 大規模なIB校の取り組みについて分かった。特にコロナ禍以前からICTに取り組んでおり、ICTがこのような状況にも有効であることが分かった。  
 わかりやすかった。普段からアクティブラーナーを育てる、のフレーズが印象的だった。  
 具体的な事例がわかりやすかったため。  
 具体的な説明で自校の実践の参考になりました。  
 一貫校の魅力がよくわかりました。

学校での実践例やそこから学んだことを分かりやすく紹介されており、大学でのICTを活用した学びや、日本のあらゆる教育現場(小学校、中学校、高等学校等)においても活用が期待できる事例を発見することができたからです。

コロナに対する学校の対応が素晴らしかった

文字通り！

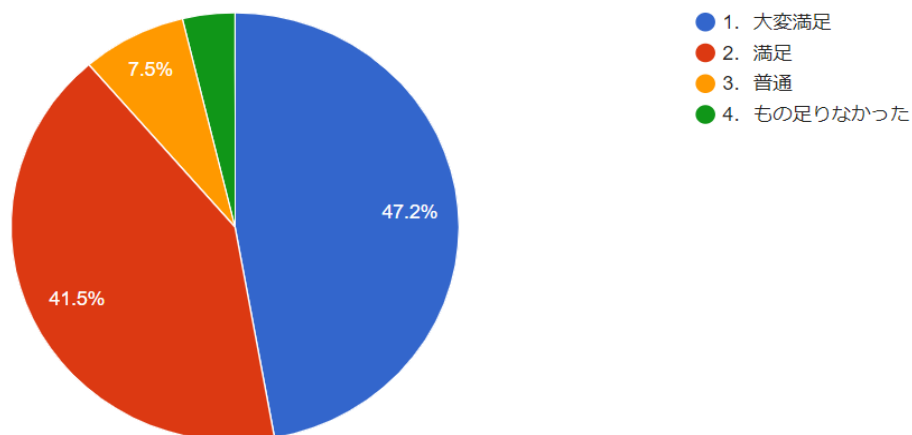
IBの学びの実践が、どのような環境下においても学びを止めぬことをお教えいただきました。

名前しか知らなかったが、校長の姿勢が素晴らしいと思ったので

教員の自発的な動きをサポートされている。

パネルの文字が多過ぎて、要点が分かりづらかった。

## [7] 第2部：事例共有セッション 東京都立国際高等学校



回答	投票数	投票率
1. 大変満足	25	47.2%
2. 満足	22	41.5%
3. 普通	4	7.5%
4. もの足りなかった	2	3.8%

## [8] 上記選択した理由をお聞かせください。

教員も自宅からリモートを行なった点。問題点の分析等がしっかりできている。参考になりました。

情報量の多い発表で、勉強になりました。

洗練された教育内容が勉強になりました

公立学校として、素晴らしい実践をされていると感じました。生徒と保護者との連携に力を入れた点、とてもよいと思いました。オンライン授業の時間も考えながら行うことも納得でした。

コロナ禍に入る前の校内環境に関する情報から始まり、事前のICT環境に関するアンケート、その後の振り返りアンケート等、参考とさせていただきたい具体事例が沢山含まれていました。

都立の一条校にあって、IBを導入していたからこそ実現したオンライン授業とはいえ、生徒たちの方から様々な工夫やアイデア画だされ、交流していた様子が良かったです。もう少し授業事例を伺いたかったです。

新しく得る情報が少なくはあったが、それぞれの取り組みや私自身の課題、学校としての課題に改めて気づけた。

他校の事例を知ることができてよかった。

実際の先生方の声や取り組みと、Googleや資料の活用方法を拝見できたから。

公立IB校のICTの取り組みについて具体的に理解できた。生徒の応用力の高さに感銘を受けた。

事例が分かりやすかった。オンライン教育を始めるにあたって、十分なオンラインガイドの必要性、について再確認できた。

スライドは見にくかったが、具体的な取り組み、特にPDCAサイクルをいかに回して行くかという施行過程を伝えていただけたのがよかったため。

公立高校ならではの取り組みがわかりました。

学校での実践例やそこから学んだことを分かりやすく紹介されており、大学でのICTを活用した学びや、日本のあらゆる教育現場(小学校、中学校、高等学校等)においても活用が期待できる事例を発見することができたからです。

やってみよう！という考えがとても良いと思った

文字通り！

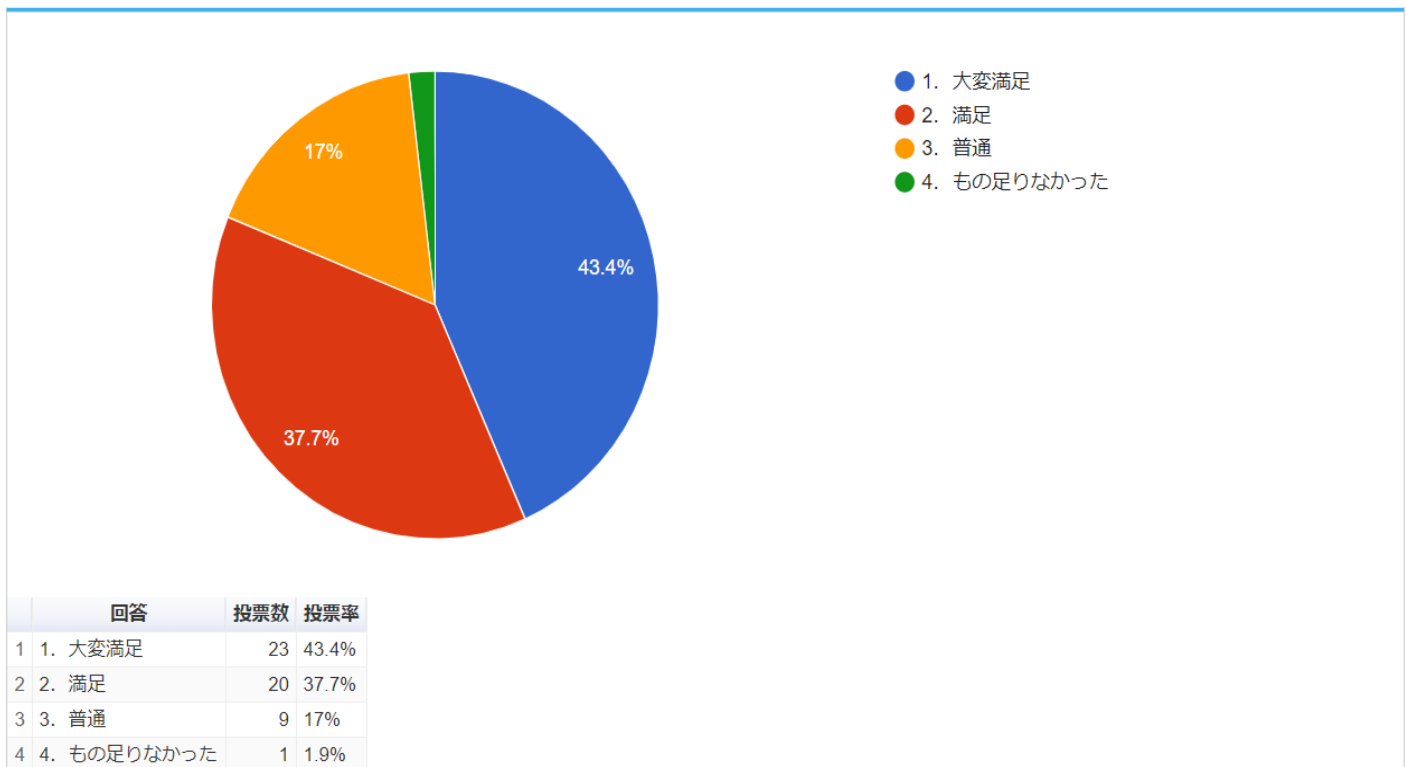
IB教育により構築された充実した教育体制はどのような環境下でも強みを発揮することをお教えいただきました。

国立校のイメージを書き換えてくれたので

IBの観点が詳しく述べられていた。

多読等で使えるようなサイトを使った学習が魅力的だと思った。

### [9] 第2部：事例共有セッション 茗溪学園中学校高等学校



### [10] 上記選択した理由をお聞かせください。

各教科での使い方が具体的に分かった点。考えるヒントになりました。

現場の先生にインタビューされており、実際の雰囲気、先生方の考え方や熱が伝わってまいりました。

ICTの効果的利用について学べた

双方向で行う工夫を感じました。

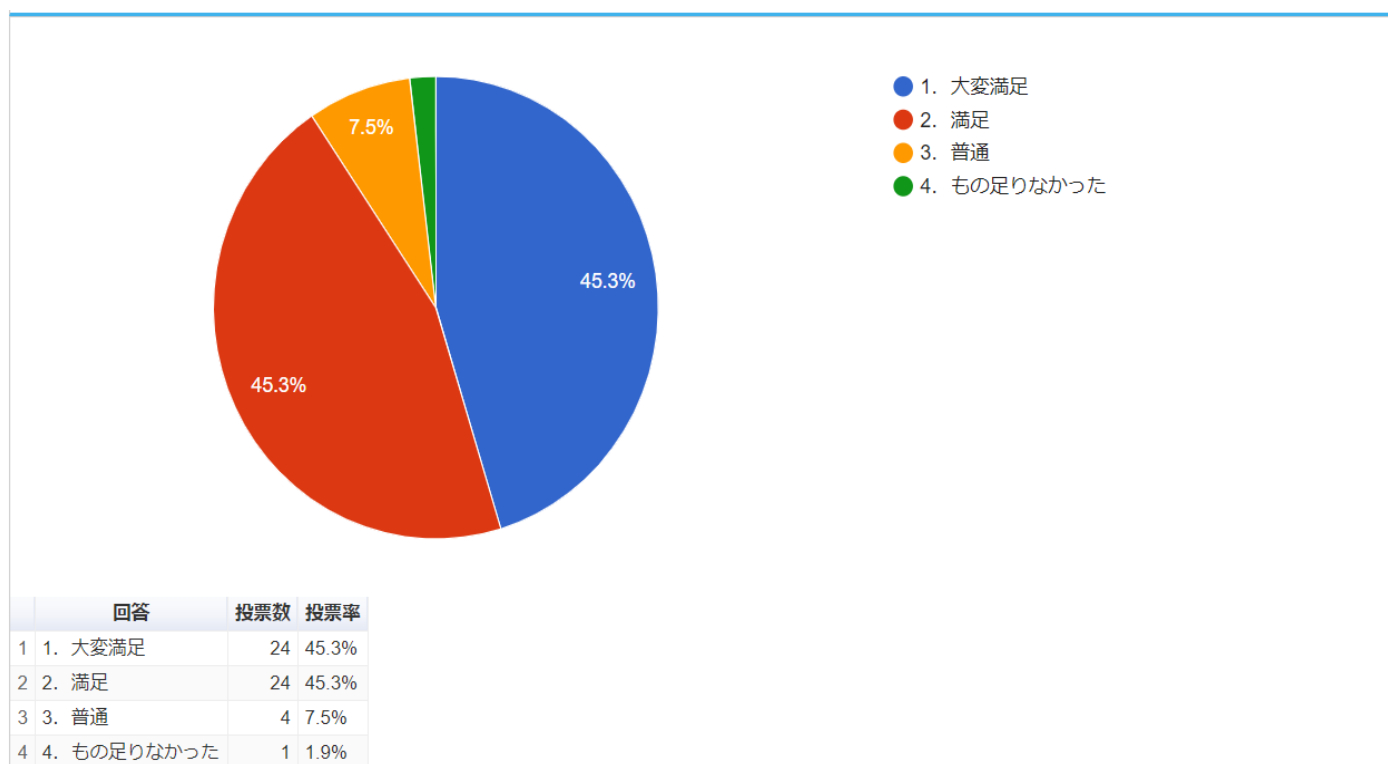
映像を中心とした具体事例に富んだ内容で、参考にさせていただきたい点が非常に多く含まれておりました。ただ、途中聞き取りにくい部分や、（自分の勉強不足も影響しておりますが）お使いになっている教材の判別が難しい部分もあり、その辺りもう少し分かりやすい内容にさせていただきたかったです。

教科担当の先生方がご自身の実践の中でteamsをいかに活用されたかをご紹介くださりわかりやすかったです。

新しく得る情報が少なくはあったが、それぞれの取り組みや私自身の課題、学校としての課題に改めて気づけた。

他校の事例を知ることができてよかった。
質問7とかぶってしまって、内容が混ざってしまっているかもしれませんが、学習の様子を実践事例を通して拝見でき、イメージできたから。
授業を作り上げる先生方の授業の工夫についてよく分かった。
teamsやclassroomの具体的な利用法がわかったが、音声が被ったり、スクリーン画面を映した映像が見にくかったのが残念
教科の先生の具体的な授業内容がみられたのはよかったため。
該当と一般との違いと関連性がよくわかりました。
学校での実践例やそこから学んだことを分かりやすく紹介されており、大学でのICTを活用した学びや、日本のあらゆる教育現場(小学校、中学校、高等学校等)においても活用が期待できる事例を発見することができたからです。

### [11] 第2部：事例共有セッション 開智日本橋学園中学・高等学校



<b>[12] 上記選択した理由をお聞かせください。</b>
ICTの活用目標をはっきりさせていた点。
数学における個別化学習のフレームワークの例が印象に残りました。どのシステムをお使いだったか共有していただけたら嬉しかったです。
時に興味をひかれてものがなかったです
授業の進め方など、具体的でわかりやすかったです。
本校は、G SuiteをICT教育の中心に据えて展開していく途中段階にあります。ですので、具体事例をお聞きして応用できる部分が非常に多くありました。また教員の業務削減ツールとしての活用に関しても非常に参考になりました。
ICT活用のメリットを端的にまとめられ、明確なプレゼンでした。教員の仕事の効率化の指摘はなるほどと思いました。
新しく得る情報が少なくはあったが、それぞれの取り組みや私自身の課題、学校としての課題に改めて気づけた。
他校の事例を知ることができてよかった。

初めのルール作りに興味があったので、勉強になりました。

生徒が進んでICT機器を活用していると言うことにIBの力が生きていると思った。

デジタルネイティブの生徒たちにアプローチする、という観念に気付かされた。ICTの活用の意味を再確認できた。とてもわかりやすかった。

ICTの活用の目標の明確化、また生徒だけでなく教員の負荷をいかに効率化しようとするかという点が具体的でわかりやすかったため。

具体例が多くわかりやすい説明でした。

学校での実践例やそこから学んだことを分かりやすく紹介されており、大学でのICTを活用した学びや、日本のあらゆる教育現場(小学校、中学校、高等学校等)においても活用が期待できる事例を発見することができたからです。

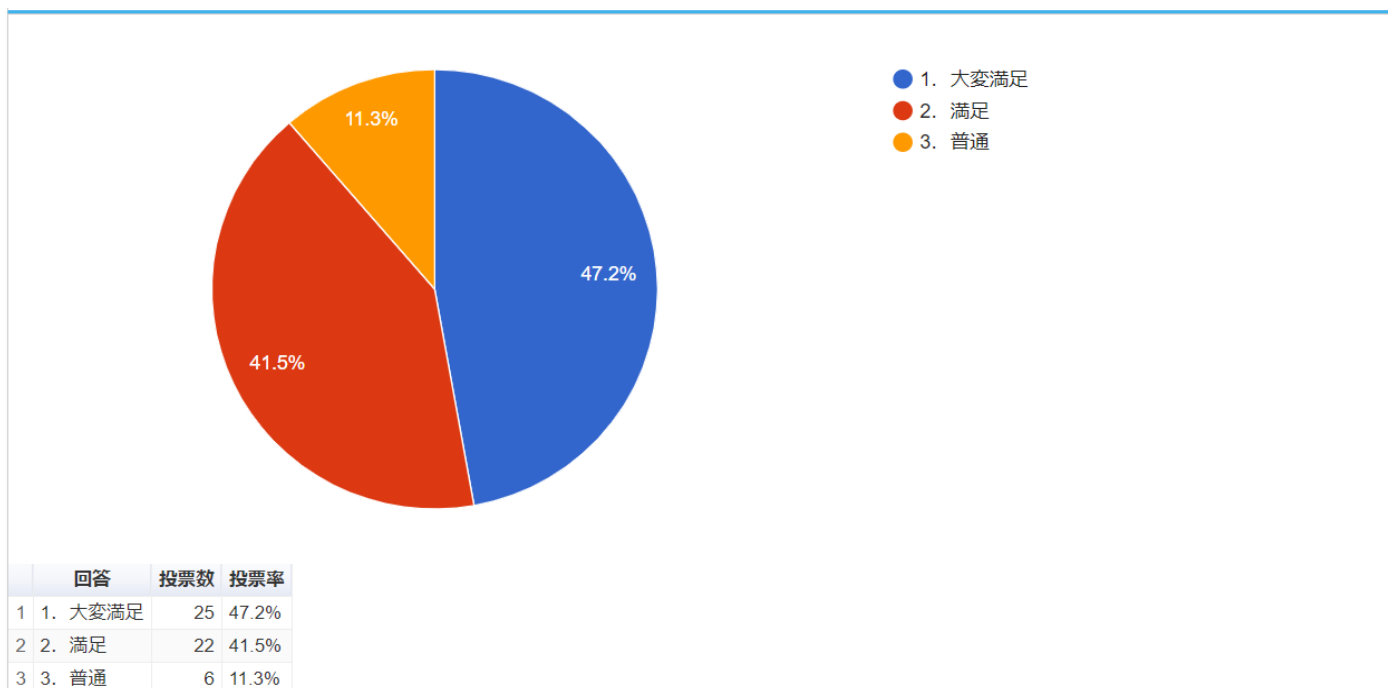
文字通り！

他校と同様にIB教育により構築された教育プログラムの強みを再確認させていただきました。

実践的な取り組みの説明に好感が持てた。

パネルが見やすく、またお話も要件がまとまっていて大変わかりやすかった。

### [13] 第3部：特別パネルディスカッション



### [14] 上記選択した理由をお聞かせください。

各プレゼンター、各校の代表者の方の実践に加え、下敷きとなっている哲学が簡潔に伝わってきました。近藤先生のご意見の、「オンライン授業により、かえってコミュニケーションのチャンネルが増えた面もある」といった視点や、オンライン自習会で、教員の問いから始まった、創発的な学び方の探求が生まれた例など改めて感銘をうけました。

パネルディスカッションのタイトルの通りのディスカッションであったとは思いますが、大枠としての『国際バカロレア教育』についての視点は落ちてしまっているように感じ、少し残念でした。（事例発表も全て同様の印象でした）

いろいろなideaがまなべました

各校の実践事例が充実していた分、オンラインでずっと聞くには苦しかったです。まとめとして、教師側のことをもっとラフに聞いた部分はとても企画だと思った分、もったいないと感じました。

<p>各校の具体例や取り組みに向けたポジティブな部分がお聞きできた点は非常に良かったです。また、最後にネルソンフミコ先生がまとめてくださったIBとICT教育の関連性の部分も非常に参考になりました。</p> <p>「事前に届いた質問事項」というものが1つだけありましたが、この「事前質問」をもう少し多めにご用意いただき、その質問に4校の先生方が回答いただく時間を増やしていただければ、より一層良かったと思います。</p>
<p>国際バカロレア教育の推進とICTの活用が密接に関係しているという実践例をたくさんお聞きし、とても参考になりました。</p>
<p>今野先生のプレゼンで日本のICT教育の状況と今後の展開をマクロに捉えることができました。</p>
<p>様々な質問事項に対しての意見が多く聞けたこと、最近大切に学生に話してきた「レジリエンス」についての話があったこと。信念を持って挑戦する気持ちの大切さを学べたように思う。</p>
<p>他校の事例を知ることができてよかった。</p>
<p>お一人お一人の意見をもう少し掘り下げてお聞きしたかったから。</p>
<p>教員同士、生徒同士の学びに気づきました。</p>
<p>コロナ禍におけるICTの活用というタイムリーな内容をそれぞれの学校の立場から語ってくれて説得力があった。</p>
<p>いくつかのフレーズが今後の業務において大きなヒントとなった。</p>
<p>各先生方の視点の深さと柔軟さ。失礼な言い方かもしれないが、校長になられる年齢層の方々にこれほど柔軟な発想力や適応力を持たれている組織は羨ましいと感じた次第です。パネルディスカッションを聞いて初めて面白いと思える内容でした。</p>
<p>進行の先生の最初の提示がわかりやすく、進め方も的確と思いました。</p>
<p>学校での実践例やそこから学んだことを分かりやすく紹介されており、大学でのICTを活用した学びや、日本のあらゆる教育現場(小学校、中学校、高等学校等)においても活用が期待できる事例を発見することができたからです。</p>
<p>それぞれの学校の取り組みを同じ質問から比べることができてとても良かった</p>
<p>司会の方(大学人)が頑張っておられるように見えましたので。全く盛り上がりませんでしたよね。</p>
<p>日本国内で国際教育プログラムが広がることで、学びの質の向上が大いに期待されることを再認識する機会となりました。</p>
<p>開智日本橋学園の校長先生のお話がとても参考になりました。</p>
<p>議論に焦点を当てた進行がよかった。</p>
<p>学校の取り組みが分かり、また、探究型のIB教育はICTとの親和性が高いのが分かった。</p>

<p><b>[15] 全体の感想、今後コンソーシアムに実施して欲しいイベント等 (具体的な要望等)</b></p>
<p>国際バカロレア推進のためのお話という点では、(国際バカロレア教育についての前提知識のない当方にとって)ネルソン文子さんのお話が一番ためになりました。今回の開催形式は一般人の当方にとってもハードルが低く、ためになるので、大変ありがたいものでした。公金での開催でいらっしゃると思うので、今後もこうした形での開催が増えることを願っております。</p>
<p>カリキュラム的なものに特化してもらいたいです</p>
<p>本日はありがとうございました。充実していて、特に実践事例は大変勉強になりました。ただ、オンラインでの聞く時間が長すぎて、苦しかったというのが率直に思うことです。各校、素晴らしい実践だったので、2校にしてパネルディスカッションで、時間を短くしていただけるとさらに深い学びにつながったと個人的に感じます。実践事例でもありましたが、やはり、オンラインでの長時間PCと向き合うのは大変苦しい部分があります。</p>

遠隔授業では、大学でも同様のあるいは大学教育としての課題があります。高等学校までの取り組みは、大学と比較すると大変手のかかる取り組みが必要であると思いますが、大学でも同様に考えていかなければならないと感じています。

遠隔での取り組み、ICTの利用により、IBプログラムの考え方を意識していくことでより大きな可能性があるものと認識することができました。今後、IB認定の教員養成に関しての情報をいただけるような機会があれば幸いです。

第3回のシンポジウムで話題に挙がっておりましたが、日本でDPを進めていく上でMYPは欠かせないものではないかと思っています。なかなか実践校が少ないので難しい部分ではありますが、MYPの実践例や導入事例等、お聞きできるシンポジウムがあればありがたいと思います。

また、AirCampus内に過去のシンポジウムの動画がアップロードされております。可能であれば、シンポジウムでパネリストの皆様が使用されたPowerPoint資料（PDFでも構いません）を掲載いただくと大変ありがたいです。（私の認識不足で、PowerPoint資料もアップロードされているようであれば、申し訳ございません。）

今回Youtube配信ということをしてもらい、山梨県からも聞くことができました。コロナが終わっても、このようにコンソーシアムを行なってもらえる、またはいろいろなイベントをインターネット配信でしてもらえると、地方に住む人も、東京に住んでいる人と同じように情報を得ることができて、ありがたいです。来年のコンソーシアムも、オンラインでぜひ参加して、聞きたいという気持ちにとってもなっています。とても勉強になりました。ありがとうございます。

コロナ禍にあって、5月の最終課題が変更になり、受験生も右往左往していましたし、結果の改訂もこれまでになかったやり方でおこなわれました。11月の日本での最終課題がどうなるのか、知りたいです。また、今年度の国内の大学のバカロレア入試はどうなるのかを知りたいです。大学がどう対応していたかについては来年3月ごろでも、よいかわかります。なかなかリアルでの海外留学画DP卒業後の可能性が難しくなったポストコロナの時代において、これから導入を考える自治体や学校も気になっているところだと思います。とはいえ、留学できるかどうかでIBの学びの本質の素晴らしさは変わらないものですが、そこをどうアピールしていくか、考えたいものです。

はじめて聞かせていただいた。文部科学省のHPをみて、興味がありなかなか休みが合わずに今日に至ったが、様々な方の意見や考えを聞ける機会はないのでありがたい。出向くとなると時間の制約もあるが、今回のお話のなかにも多くあったように、オンラインだからこそ参加できた。今後も意欲的に取り入れてほしい。可能なら幼児教育についても沢山機会がほしい。ありがとうございました！

IBに興味があるので、今後もこのようなイベントを実施して下さい。

IBの学習方法が、コロナ禍における教育にも大きな意味を持っているということに改めて感銘を受けた。

コロナ禍での、学校の様々な対応を知ることができ、教員を目指す者として、コロナなどの通常の学びが出来なくなってしまった場合にどういう対応をすべきか、ということが分かって、とても、有意義な時間を過ごすことができました。

今はICTの時代なので、コロナ等の問題が起こった場合でもらしっかり対応できるんだなということが、各学校のお話を通してとてもよく分かりました。また、コロナ禍の状況を楽しみながら乗り越えるという発想はとても新鮮で、苦難に直面した時にも、そういった考え方ができるというのはとても素晴らしいことだと思いました。

今回のシンポジウムを通して得た物を自分が実践して使えるように定着させていきたいと思っています。

貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

MYPに焦点を当てたイベントを希望します。



長時間のシンポジウムでしたが最後まで飽きずに参加できました。遠方に住んでいるため今後もオンラインでの開催があると助かります。今後もオンラインでの開催がなされるとすれば、今回は常時300?400名ほど参加者がいらっしまったようなので、youtubeであればコメント機能を使うなどし参加者間でのコメントのやり取りができるなどすると、今回のテーマであったICTの活用を実体験できるものになるのではないかと思います。

コンソーシアムにお願いしたい例に関しては、好事例の紹介は引き続き聞いていきたいです。その他には、具体的な評価尺度が難しいですが授業の展開などが「うまくいかなかった」ケースや「難しかった」ケースの事例検討のセッションなど、なかなかOpenでは難しいかもしれませんがIBの理解を深めるためには期待したいところです。

ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、大学でもオンライン授業が強いられ、今もなおZoomを活用する等してはいますが、その中でもまだ知らない新しいICTの活用方法について学ぶことができ、非常にためになりました。また、小学校や中学校、高等学校等の教育現場でも活用が期待できる事例が紹介されていたので、ぜひ実践していきたいと思いました。

最後に、「オンライン授業」だからこそできることを大切に、ICTの活用についてしっかりと考え、子どもの学びを深めていきたいと思います。ありがとうございました。

登壇された先生方ご自身が、まさにIB Learner Profileを実践されており、楽しそうにお話しされる様子から自信や誇りが垣間見られました。是非とも国際IBをより多くの学校に導入すべきと確信しました。

1. パネルディスカッションも遠隔でできないでしょうか。
2. 録画部分は単調だった。モデレーターがライブで要約するなど工夫した方が良いと思う。

Air Campusを知れてよかったです。

今回の資料はどこかで公開されるのでしょうか？メモが追いつきませんでしたので、可能な範囲で良いですから、是非、ご共有いただきたいです。

そうですね。気の抜けたサイダーみたく、眠気に誘い込まれました。一応、やってます感が満載で・・・聴衆を集めたからには、「ハッ！」とさせましょう。黙っていても人が来る学校ごっこでは、もうダメでしょ。その段階を、もうサッサと卒業して下さい。

IB導入&教育内容に関する説明が中心だと(コロナ禍でのIB校の対応は強みを活かした部分の紹介程度)思って参加したんですが、実際はコロナ禍のオンライン等の授業の実践例中心で、IB認定校に限らず、近大付中高などの先進的にオンライン等の授業(探究活動も含めて)の実践例はこれまでもいろいろ聞いてきたので、もちろんオンライン等の授業の実践例としては参考になったが、IB校特有の教育の話はあまりなくちょっとがっかりでした。むしろ5:15~の導入説明会をもっと時間をさいて充実させてほしかった。できれば5:15~の導入説明会の動画や資料等をメール等でいただければうれしいです。

外部に公開可能な範囲内でIB教育の現場(学習の様子等)をご紹介いただければと思います。

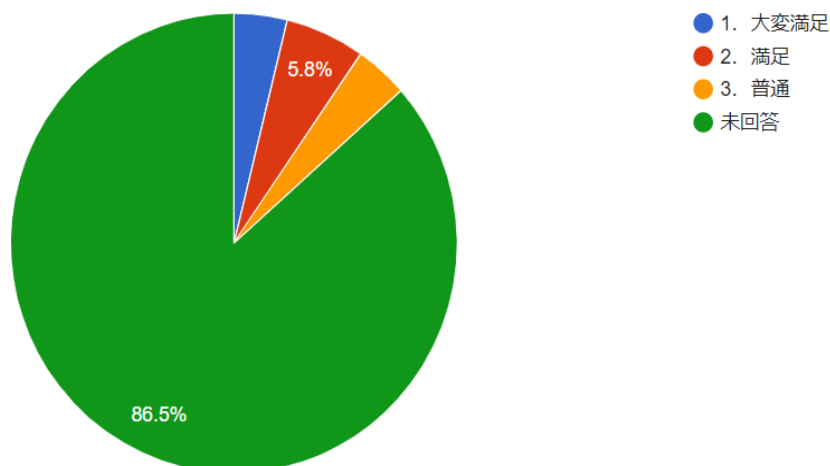
コロナウイルス感染拡大防止の対応下での開催ありがとうございました。YouTubeによるライブ配信も混乱することなく視聴できました。ご準備等にご苦労されたと存じますが、今後もこのように勉強の機会を頂戴できることを期待しております。

今回初めて参加したが、今後もオンラインでの参加を継続させていただきたい。とてもよかった！

今回のように具体的な取り組みには実感がこもっていたので、このような絞り方がよい。

IB入試又はIB教育を受けた事によるAO入試を利用しての大学受験のアドバンテージについて。

[16] アフターセッション：IB教育プログラム導入説明会



	回答	投票数	投票率
1	1. 大変満足	2	3.8%
2	2. 満足	3	5.8%
3	3. 普通	2	3.8%
4	未回答	45	86.5%

17. 上記選択した理由をお聞かせください。

質問にも丁寧に答えていただきました。音声聞き取りにくかったです。

冒頭の動画は、ウェブにアップしておけば十分かと思いました。折角のオンラインセッションで、一方向的な動画再生は、勿体ないしIBっぽくないかと感じます。

18. IB教育プログラム導入説明会に関して、ご質問、ご意見、ご感想などございましたらご自由にご記入ください。

初めての参加で、色々学べました

長い時間でしたが、大変参考になることも多くありました。大学からの参加は少ないものと思いますが、大学や大学院でのIB教員養成に関する情報をご提供いただけると幸いです。IBの教育理念は、大学区教育においても非常に重要であると思っています。

とても参考になりました。

本日はたくさん勉強させていただきました。ありがとうございました。

色々な切り口で、今後もセミナーをご用意いただけることを期待しております。

冒頭で、IBの10の学習者像は生徒だけでなく、教師、保護者も意識する必要があるとの話があったので、保護者向けの企画ももっと増えたらいいなと思いました。

時間もなく駆け足で通り過ぎたので、ほとんどわかりませんでした。もう少し時間を取って分かりやすく & 詳しく説明していただける機会をまたつくっていただけるとありがたいです。

とても勉強になりました。ありがとうございます。